

埼玉大学教育実践フォーラム 2024



—明日を拓く学びのイノベーション—

日時： 2024年2月17日(土)
会場： Zoom によるオンライン開催（一部対面）
主催： 国立大学法人埼玉大学
後援： 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
埼玉県公立小学校校長会 埼玉県中学校長会
さいたま市立小学校校長会 さいたま市中学校長会

プログラム

教職大学院発表 9:00-10:20 開会挨拶後 学卒1年次生発表
10:40-12:00 2年次生・現職1年次生発表

全体会 13:00-13:15 開会 主催者・来賓挨拶
13:15-14:40 附属学校園の課題と試み

パネルディスカッション

新しい時代の学校教育に向けて —今日的な課題を解決する実践の提案—

ラウンドテーブル 15:00-17:00

国語 算数・数学 理科 生活・総合
外国語（英語） 図画工作・美術 音楽
体育・保健体育 技術・情報 家庭
STEAM教育 特別支援教育 教員研修

◇ 教職大学院発表 ◇ 9:00-12:00 オンラインのみ

※詳しいプログラムは別記※

◇ 全体会 ◇ 13:00-14:40 オンライン・A114 教室で視聴可能

主催者・来賓挨拶

**パネルディスカッション：新しい時代の学校教育に向けて
—今日的な課題を解決する実践の提案—**

- ・ファシリテーター
有川 秀之（教育学部評議員）
- ・趣旨説明
堀田 香織（教育学部長）
- ・附属学校園からの報告
 - (1) 附属小学校 研究主任 塩盛 秀雄
 - (2) 附属中学校 研究部長 山本 孔紀
 - (3) 附属特別支援学校 副校長 池澤 健
 - (4) 附属幼稚園 副園長 小谷 宜路
- ・指定討論
磯田 三津子（教育学部心理・教育実践学講座）
日比野 拓（教育学部自然科学講座理科分野）

◇ラウンドテーブル・プログラム◇ 15:00-17:00

オンラインのみ：申し込みいただいた方に Zoom 招待状を送付します

対面のみ：申し込みがなくても参加できます。直接会場にお越しください

【国語】対面のみ（教育学部A棟212教室）

国語科における授業づくりの工夫

実践報告①： 藤野 美波（神川町立神川中学校・2023年度埼玉県長期研修生）

実践報告②： 中川 愛友伽（鴻巣市立鴻巣南中学校・2023年度埼玉県長期研修生）

司会：本橋 幸康（教育学部言語文化講座国語分野）

【算数・数学】オンライン・対面（教育学部A棟213教室）

算数・数学科教員養成における諸問題

横浜国立大学教職大学院の現状と課題

両角 達男（横浜国立大学）

群馬大学教職大学院の現状と課題

小泉 健輔（群馬大学）

教職大学院での学びと教員としての仕事ー現場に出て4年で見えてきた理論と実践ー

内田 敦也（埼玉県熊谷市立富士見中学校）

教職大学院での学びを生かした教育実践ー1年目数学科教員としての取組ー

棚澤 日菜子（埼玉県立吹上秋桜高等学校）

【理科】オンラインのみ

理科教育と自然科学一般

1. 発表：理科各分野（物理・化学・生物・地学・理科教育）の研究紹介

教育学部理科分野学部生・大学院生・長期研修生

2. 発表：附属小中学校の実践発表・教材紹介

教育学部附属小・中学校理科部

3. 講演 小倉 康（教育学部自然科学講座理科分野）

「理科モデル授業オンライン研修会」は何を目指しているのか

司会：松岡 圭介（教育学部自然科学講座理科分野）

【生活・総合】オンライン・対面（教育学部A棟111教室）

これからの総合実践の課題について

ーSDGsをテーマとした中学校の総合的な学習の時間の展開を題材にー

「持続可能な」総合的な学習の時間づくり：SDGsの視点と地域に開いた探究的な学習の実践 事例提供：「シントコロザワのミライをつくる」3年生

新井 孝幸（所沢市立向陽中学校）

座談会：横田 典久（教育学部附属小学校）

座談会：鈴木 康平（教育学部附属小学校）

司会：宇佐見 香代（教育学部心理・教育実践学講座）

* 中学校の実践事例をもとに、総合的な学習（探究）の時間の実践に関わる課題とその解決について意見交換をします。中学校以外の校種の方も是非参加してください。校種の違いをふまえて、また、それらをつないで広く議論ができればと思っています。

【外国語（英語）】オンラインのみ

外国語（英語）科における「思考力・判断力・表現力」の育成ー問題点をさぐり、実践を考える

コーディネーター：及川 賢（教育学部言語文化講座英語分野）

登壇者： 蓬澤 守（教育学部附属中学校）
小内 貴司（教育学部附属中学校）
池田 翔吾（教育学部附属中学校）
有江 聖（さいたま市立本太小学校）

*外国語（英語）科における「思考力・判断力・表現力」の実践でお悩みの先生方も多いと思います。私たちの部会では、登壇者によるディスカッションや小学校・中学校での実践例の紹介を通して、ご参加の先生方と悩みを共有したいと思います。

【図画工作・美術】対面のみ（教育学部D棟プロジェクト室）

「描くことを教える」を問い直す～新進気鋭の若手研究者による問題提起～

話題提供者：谷川潤（東京学芸大学大学院連合教育学研究科院生・埼玉大学附属小学校
非常勤講師など）

司会・進行：齊木 紫乃（教職大学院芸術系教育 SP（図工・美術））

企画： 平野 英史（教育学部芸術講座美術分野）

*アートと教育とにかかわる今日的な課題について考えるために、本学博士課程院生（谷川潤・タニジュン）から話題提供を受けます。様々な立場の方々からご意見をいただき、活発なディスカッションの場に来たらと思います。

【音楽】オンラインのみ（※登壇者はA211から配信）

音楽科の異校種間連携・接続を考える

企画・司会： 森 薫（教育学部芸術講座音楽分野）

講師・話題提供：村岡 理奈（学校法人しらさぎ学園しらさぎ幼稚園）

納見 梢（北本市立北小学校）

森 由紀乃（多摩市立聖ヶ丘中学校）

小出 勝大（埼玉県立川口高等学校）

*幼稚園、小学校、中学校、高等学校の先生方お招きし、音楽科の異校種間連携・接続の状況について、事例報告・話題提供をしていただきます。また、その課題や方策について、フロアの皆さんとディスカッションしながら考えていきます。企画者からも国内外の連携・接続の事例や動向についてお話しします。

【体育・保健体育】オンラインのみ

運動が苦手な児童・生徒に対する配慮と指導を考えるー2ー

司会： 細川江利子（教育学部身体文化講座）

話題提供者：小学校体育で、運動が苦手な児童に対する配慮と、指導で気をつけていること～器械運動系及び表現運動系～ 浅間 聖也（教育学部附属小学校）
運動が苦手で、球技も苦手な生徒が学びを深める手立てについて

阿部 健作（教育学部附属中学校、教職大学院身体文化系教育 SP）

コメンテーター： 教育学部身体文化講座教員

【技術・情報】オンラインのみ

これからの社会が求める技術・情報教育の在り方 ～AI・デジタル技術に焦点を当てて～

提案内容 15：00～16：05

- 1) プログラミング教育の必要性 本郷 健（大妻女子大学）
- 2) 日本型フレームワークに基づいた「AIリテラシー」の育成を目指した学習内容の実践評価 木村 僚（教育学部附属中学校）
- 3) 学校教育における M5StickV を活用した AI プログラミング教育の提案 伊藤 大河（共栄大学）
- 4) 工業高校における 3D CAD を活用したデジタル技術教育の提案 久保田 久和（都立城南職業能力開発センター大田校）

グループディスカッション 16：05～16：40 1)～4) に分かれて

グループディスカッション報告 16：40～17：00 1)～4) のディスカッションのまとめ提案

指導助言者

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課	林 裕人
さいたま市教育委員会指導 1 課	松本 有
蓮田市黒浜中学校	安藤 義仁
さいたま市立春野中学校	永谷 和俊
日本工業大学	本村 猛能
茨城大学教育学部	工藤 雄司

【家庭】オンラインのみ

これからの家庭科 ～実践的・体験的学びの価値を考える～

司会：上野 茂昭（教育学部生活創造講座家庭科分野）

衣生活領域に関する教材研究 川端 博子（教育学部生活創造講座家庭科分野）

調理を科学的に捉える視点を育む 島田 玲子（教育学部生活創造講座家庭科分野）
総合討論

【STEAM 教育】オンライン・対面（教育学部 A 棟 2 1 4 教室）

STEM/STEAM 教育の実装を目指して～「わかる」「できる」と探究を中心に学校教育を問題解決的に捉え直す～

コーディネーター： 馬場 真行（富士見市小学校）
野村 泰朗（教育学部心理・教育実践学講座）

パネリスト：

探究の先にある真の学びとは	小川 裕也（柏市小学校）
教育 DX と探究的な学び	依頼中（久喜市小中学校）
国語教育と STEAM 教育	依頼中（幸手市小中学校）
探究的な学びと STEAM 教育	依頼中（所沢市小学校）
プログラミング教育と探究的な学び	依頼中（川口市小学校）
特別支援教育と STEAM の活動	依頼中（富士見市小学校）

*STEM/STEAM や ICT, 教育 DX といった言葉に惑わされることなく、あらためてさまざまに言われている手段と目的を整理し、皆さんと一緒に、いまいちど学校教育の目的、意義を、STEM/STEAM の切り口で捉え直してみませんか。

【特別支援教育】オンライン・対面（教育学部 A 棟 A 1 1 3）

通常学校における特別支援教育校内支援機能向上に向けた教員研修のあり方

企画：葉石 光一（教育学部特別支援教育講座）
司会：山中 冴子（教育学部特別支援教育講座）

話題提供：

- ①教員養成・研修の立場から 名越 斉子（教育学部特別支援教育講座）
- ②小学校特別支援教育コーディネーターの立場から
比嘉 亮太（三郷市立早稲田小学校，2022 年度教職大学院修了生）
- ③小学校特別支援教育コーディネーター及び就学相談担当の立場から
新井 勇氣（さいたま市特別支援教育相談センター，2021 年度教職大学院修了生）
- ④特別支援学校センター的機能の立場から
齋藤 みち子（埼玉県立大宮北特別支援学校，2009 年度長期研修生）

*通常の学校における、障害などのある特別な教育的ニーズを持つ子どもへの組織的対応は喫緊の課題である。校内支援機能の向上につながる研修について、話題提供者からの報告に基づいて考えます。

【教員研修】 オンライン・対面（教育学部A棟A112）

教師の主体的な研修を促す効果的な受講奨励プロセスのモデル開発

コーディネーター：浅海 純一（教育学部附属教育実践総合センター）

話題提供 15：10～16：30

- 1 教育委員会の立場から 深津 健太郎（さいたま市立教育研究所）
- 2 校長の立場から 河野 秀樹（さいたま市立仲町小学校）
- 3 研修を奨励される教員の立場から 下出 水華子（さいたま市立大宮西小学校）
- 4 教師の主体的な研修を促す効果的な受講奨励プロセスモデルについて

石田 耕一（教育学部附属教育実践総合センター）

総括討論 16：30～17：00

*教師の主体的な研修を促す効果的な受講奨励プロセスに大きく関係する、研修体制、教師と学校管理職等との対話、教師の研修観など、さらに教育実践総合センターで研究を進めている「教師の主体的な研修を促す効果的な受講奨励プロセスのモデル」について、それぞれの立場から議論し教員研修に役立てます。